

2013年11月号

11月15日(金)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 206



冬の足音…

ミズナラやカラコギカエデの鮮やかな紅葉も最低気温がマイナスになると一気に葉を落とし、ほんの一瞬の秋が終わりました。

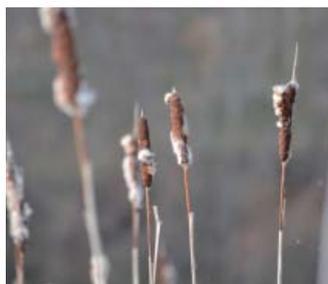
見通しがよくなった周辺の森では、夏の間はなかなか姿を見せてくれなかった鳥たちが賑やかな群れを作って訪れる人たちを迎えてくれます。

そして釧路湿原の人気者「やちぼうず」も姿を現しました。

～温根内ビジターセンター木道周辺の自然情報～



～温根内ビジターセンター周辺の植物～



【ガマ (果実)】
 蒲 ガマ科
 木道 46 番と C20 付近の水面が見える辺りで見られます。少しずつほぐれて綿毛とともに風を受けて種子が運ばれます。



【マユミ (果実)】
 真弓 ニシキギ科
 茶色くなった湿原でやさしいピンク色が目を引きます。折れにくく弾力のある枝は弓を作るのに使われていました。鶴居軌道跡で見られます。



【タヌキモ (越冬芽)】
 狸藻 タヌキモ科
 1 cm 程の越冬芽はやがて水に沈み、氷の下で越冬します。スゲ湿原の 46 番付近ではたくさんの越冬芽が浮いているのを見られます。



【ハンノキ (花芽)】
 榛 カバノキ科
 湿原の中で唯一高く育つ樹木のハンノキは春に備えてイモムシのような花芽を付けています。木道沿いのハンノキの枝先で見られます。



【ツルウメモドキ (果実)】
 蔓梅擬 ニシキギ科
 鶴居軌道跡で鮮やかな朱色の実が目立ちます。他の樹木に巻き付いて生長するので、その樹木を絞め殺してしまうこともある蔓性の木本です。



【ヤチダモ (冬芽)】
 谷地楸 モクセイ科
 冬芽と葉痕の形が帽子をかぶって笑っている怪物のように見えます。見る人によって見え方が変わります。木道入口付近で見られます。

※温根内周辺の花の時期は終わりました。咲いている花の情報は来年 5 月頃から再開します。

※温根内木道周辺の植物をむやみに折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様気持ちよく散策・観察できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

*表紙の写真 上：晩秋のやちぼうず 中左：アカゲラ 中右：ホロムイツツジの紅葉 下：霜が降りたヨシの穂

～温根内ビジターセンター周辺の鳥～

周辺の木々は落葉し、見通しがよくなりました。夏鳥は姿を消し、冬鳥の確認も少しずつ出てきています。一年中温根内にいるカラ類は混群を作り、賑やかでとても見やすい時期です。双眼鏡を片手に野鳥観察はいかがですか？



【ハシブトガラ】

嘴太雀 シジウカラ科
鶴居軌道跡やハンノキ林で見られる留鳥です。冬の間は他のカラ類と混群を作り、にぎやかに飛び回っています。



【ヒヨドリ】

鶯 ヒヨドリ科
一年を通して全国で普通に見られる鳥ですが、よく見るとほっぺたが茶色くてかわい顔をしています。鶴居軌道跡で見られます。



【ケアシノスリ（幼鳥）】

毛足鷹 タカ科
温根内には冬になるとやってきます。湿原上空でピタッと止まって（ホバリング）エサを探している姿を見かけます。



【オジロワシ】

尾白鷹 タカ科
冬になると極東ロシアから多くが渡ってくるので見る機会が増えますが、釧路湿原周辺で繁殖もしているので一年中見られる希少な鳥です。

○温根内木道周辺で観察された鳥（10月15日～11月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順
■ヒシクイ■マガン■オオハクチョウ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■チュウヒ■ハイトカ■オオタカ■ノスリ■ケアシノスリ■フクロウ（声）■コゲラ■アカゲラ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■ツグミ■セグロセキレイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ

☆☆☆温根内木道無料ガイドウォーク実施報告☆☆☆

この無料ガイドウォークは夏休み期間中に釧路湿原を訪れる観光客に向けて、より湿原に親しんでもらおうと今年度から試験的に始めたもので、特に初めて温根内木道を訪れる個人旅行客をターゲットに実施しました。そのため事前の新聞、広報等の告知はできるだけ行わずに、釧路湿原国立公園連絡協議会のHPとビジターセンターでの告知に限りしました。



VC外での告知

実施した9日間で合計68名の方が参加し、85%が道外（海外含む）からの参加者でした。

ガイドウォークは湿原や花の見方、動物、歴史などを解説しながら虫眼鏡を片手にゆっくりと1時間かけて木道を歩き、ミスゴケ湿原展望テラスで解散する

という内容で、解散後は自由に木道散策を続けることができるようになりました。また、参加者とのコミュニケーション重視の



ガイドウォークの様子

ため、定員を各回10名以下の少人数で行いました。参加者からは「湿原の見方が変わった」「のんびりと散策を楽しめた」「植物のことを詳しく教えてくれてありがとうございました」「何十年ぶりに虫眼鏡を使ったが、こんなに面白いものとは思わなかった」などたくさん感想と貴重なご意見をいただきました。今年度の結果を来年度に生かし、より良いものにしたいと思います。

近年北海道旅行の形態が多様化し、少人数でゆっくりと内容の濃い旅をする観光客が増えてきてはいるものの、いまだに大半は通過型の団体旅行が占めています。交通の便が悪いというのもその理由の一つではありますが、温根内木道もただただ歩いて通過するだけでなく、立ち止まってゆっくりと植物を観察し、鳥の声に耳をすませ、湿原の風の匂いを感じてほしいものです。その一つの選択肢として今後は温根内無料ガイドウォークを提案できればと考えています。

お知らせ
温根内木道無料ガイドウォーク
開催日：7/27から8/31までの間の土曜日、日曜日
(7/27, 28, 8/3, 4, 10, 17, 24, 25, 31)
※8/11(日), 18(日)は雨の多い行事があるためガイドウォークは実施しません。
時間：午前10時～、午後2時～（一日2回）
定員：10名（先着順）
※事前予約は行いませんので、直接ビジターセンターへお越しください。
夏の温根内木道をあよと！期間が
けてミスゴケ湿原まで歩き、
湿原の植物などを詳しく学び、
（道外からの観光客の方が多いです）
お気軽にご参加ください。
VC外での告知

☆☆☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆☆☆



○「秋の湿原ハイク」

10月8日(日)、ビジターセンター前指導員の若山氏の案内で秋の湿原ハイクが開催されました。花の季節が終わり、一見何も無いように見える秋の湿原で、植物の子孫を遺すための戦略について解説を聞くと、参加者は感心し、秋の湿原の見方が変わったようです。また、湿原や紅葉を題材に俳句を詠み、参加者同士で発表し合っ秋の湿原を楽しみました。(参加者：5名)



○「自然の贈り物でいろいろ工作」

11月10日(日)、釧路湿原パークボランティアの藪本氏を講師に、木の葉や木の実、エゾシカの角などを使ってオリジナルの作品作りを行いました。今回の参加者は全員昨年参加している方たちで、藪本氏の説明を聞くと、早速作品作りに取り掛かりました。材料の自然素材も豊富で、経験者らしく手際も良く、皆さんいくつものオリジナル作品を制作しました。(参加者：8名)

☆☆☆☆☆☆イベントのご案内(12月)事前の申し込みが必要です☆☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター
♪リースを作ろう

⇒お申し込みはこちらまで ☎ 0154-65-2323

〔日時〕12月8日(日) 13:00～15:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕材料代：500円 〔場所〕温根内ビジターセンター

クリスマスまでもう間近。いろいろな自然の素材を使ってオリジナルリースをつくりましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

⇒お申し込みはこちらまで ☎ 015-487-3003

♪松ぼっくりでツリーを作ろう

〔日時〕12月7日(土) 11:00～15:00 〔定員〕8名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕材料代：600円 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

松ぼっくりでオリジナルのクリスマスツリーを作って、個性豊かなクリスマスを演出しましょう。

※近隣施設の釧路市湿原展望台の遊歩道が損壊のため一部閉鎖になっております。温根内から湿原展望台まで歩く場合は注意が必要です。詳細は湿原展望台までお問い合わせください。Tel 0154-56-2424

※誌面の都合上「温根内木道 旬の自然を楽しもう♪」はお休みしました。来月号をご期待ください。

～開館時間が変わりました～

冬期間(11/1～3/31)は開館時間が変更になります。冬季開館時間は**10:00～16:00**です。ビジターセンターご利用の際にはご注意ください。よろしくお願いいたします。

なお、冬期間は日没が早いため、木道をご利用の際は時間に余裕を持って暗くなる前にお戻りください。街灯等は一切ありませんので、真っ暗になり危険です。

月刊 温根内通信 No.206

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036

北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～16:00(4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料